

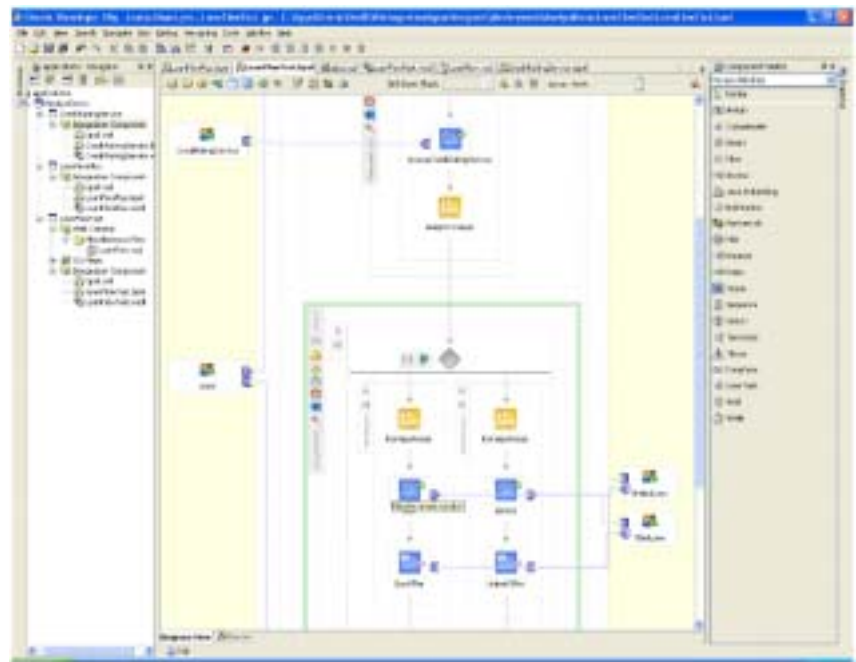
Oracle BPEL Process Manager

ORACLE BPEL PROCESS MANAGER

主な機能:

- BPEL Designer
 - BPEL のネイティブ・サポート
 - ドラッグアンドドロップ方式のプロセス・モデラー
 - UDDI および WSIL サービス・ブラウザ
 - 自動マッピング機能を備えた変換モデラー
 - 統合型のアダプタおよびヒューマン・ワークフロー・ウィザード
 - ワンクリックでのビルドとデプロイ
 - アクティビティ追跡センサー
- BPEL Console
 - ビジュアル・モニタリング
 - 監査
 - BPEL デバッガ
 - 実行中管理
 - パフォーマンス・チューニング
 - パーティション/ドメイン
- 組込み統合サービス
 - 電子メールおよび JMS メッセージング・サービス
 - JCA 1.5 接続
 - パッケージ・アプリケーション用およびレガシー・システム用アダプタ
 - データベース・アダプタ
 - XSLT および XQUERY 変換サービス
 - ヒューマン・ワークフロー・サービス
 - 拡張可能な WSIF バインディング・フレームワーク
 - Java コードの埋込み
- ヒューマン・ワークフロー・サービス
 - タスクの割当てとルーティング
 - 複数のワークフロー・パターン
 - ID サービス
 - タスク・リスト
 - 通知サービス
- BPEL サーバー
 - 包括的な BPEL 1.1
 - 同期および非同期メッセージング
 - コンテキスト・デハイドレーション
 - 事前例外管理
 - 並列バージョンング
 - 大規模な XML ドキュメントのサポート
 - ハイパフォーマンス

Web サービスとサービス指向アーキテクチャ (SOA) は複合型アプリケーションの構築に伴う統合要件に対処すべく将来計画や標準化を考える企業が増えています。BPEL 標準と Web サービス標準は、オープンで移植性の高い標準的な方法で一般的なアプリケーション要件に対処することにより、この問題を解決しました。SOA は、既存のリソースを最大限に活用しながら新規アプリケーションの導入コストを最小限に抑え、俊敏なビジネスを可能にします。



製品概要

Oracle BPEL Process Manager はオラクルのビジネス統合ソリューションに不可欠の要素です。アプリケーションをまたがったビジネス・プロセスを、自動ワークフロー・ステップとヒューマン・ワークフロー・ステップの両方を用いて作成、デプロイ、管理できる、包括的な標準ベースの利用しやすいソリューションを提供します。ビジネス・プロセスはすべてサービス指向アーキテクチャの中で実行されます。Oracle BPEL Process Manager は、BPEL、XML、XSLT、XPath、JMS、JCA、Web サービスなどの標準をネイティブ・サポートしているため、プラットフォーム間で完全に移植可能な統合ビジネス・プロセスを作成するのに最適なソリューションです。Oracle BPEL Process Manager は、基礎となる Oracle Application Server 10g プラットフォームの高度な機能 (セキュリティ、スケーラビリティ、高可用性など) をフルに活用します。

主な利点:

- ・ オープン標準の持つ能力を最大限引き出す
- ・ 完全な統合ビジネス・プロセスをモデル化するための一元的な設計環境を提供
- ・ 比類のない可視性と管理を実現
- ・ 大幅なコスト削減が可能
- ・ 既存の Java スキルとアプリケーション・サーバーへの投資を活用した、オープンな柔軟性の高いバインディング・フレームワークを提供

関連製品およびサービス:

- ・ Oracle Application Server Integration B2B
- ・ Oracle Application Server Integration BAM
- ・ Oracle Application Server Integration InterConnect
- ・ Oracle Application Server Integration Adapters
- ・ Oracle JDeveloper

Oracle BPEL Process Designer

Oracle BPEL Process Designer では、グラフィカルかつユーザー・フレンドリーな方法で BPEL プロセスを作成できます。Oracle BPEL Process Designer の特長は、BPEL をネイティブ・フォーマットとして使用することです。つまり、BPEL Process Designer で作成したプロセスは 100% 移植可能になります。また、開発者が BPEL ソースの表示や変更を行う際にも、このツールは便利です。BPEL Process Designer はプラグインとして JDeveloper 環境に付属しているため、一元的な設計時環境がユーザーに提供されます。単純なヒューマン・ワークフロー・ステップや複雑なワークフロー・ステップの設定、アダプタの構成、複雑な変換マップの定義などが行えるユーザー・フレンドリーなウィザードが標準サービスとして設計時 GUI に組み込まれています。

Oracle BPEL Process Manager Console

Oracle BPEL Process Manager Console では、ユーザー・フレンドリーな Web ベースのインタフェースで、BPEL サーバーにデプロイされたプロセスの管理、処理、デバッグが行えます。監査証跡とプロセスの履歴/レポート情報が自動的に保存され、BPEL Process Manager Console や Java API を使って参照できます。ワークフロー・タスク・リストと履歴プロセス分析レポートも同じコンソールに統合されています。

組込み統合サービス

組込み統合サービスを利用すると、開発者はワークフローや接続、変換などの高度な機能を標準の BPEL プロセスで簡単に活用できます。活用可能な機能には、XSLT および XQuery 変換や、JCA アダプタとネイティブ・プロトコルによる何百ものレガシー・システムへのバインディングのサポートも含まれます。タスク管理、通知管理、ID 管理といったヒューマン・ワークフロー・サービスが組込みの BPEL サービスとして提供されており、人と手動タスクを BPEL フローに統合することができます。拡張可能な WSDL バインディング・フレームワークにより、SOAP 以外のプロトコルやメッセージ形式への接続が可能になります。バインディングは JMS、電子メール、JCA、HTTP GET、POST、その他多数のプロトコルに対して行えるため、何百ものバックエンド・システムに簡単に接続できます。

Oracle BPEL Process Manager Server

コア BPEL エンジン、現在入手可能な、成熟度とスケーラビリティ、堅牢性の点で最も優れた BPEL サーバーを実現します。Oracle BPEL Process Manager は、標準の BPEL プロセスを実行し、長期間にわたるフローの状態を自動的にデータベース内に保存する「デハイドレーション」機能により、フェイルオーバーとスケーラビリティの両方を目的としたクラスタリングを可能にします。この BPEL サーバーは、基礎となる J2EE アプリケーション・サーバーとして OC4J を活用し、WebLogic などの主要な商用アプリケーション・サーバーをサポートしています。

詳細情報

Oracle BPEL Process Manager の詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.oracle.com/technology/products/ias/bpel/index.html>